

# 浪速区制100周年プレ企画 【第1回】 大国地域

## 賑やかだった戦前の大国地域

**区長** まずは戦前の大国地域について教えてください。資料によると、この地域に1903(明治36)年に私立の成器商業学校が開校され、1919(大正8)年には裁判所や共同宿泊所、簡易食堂、職業紹介所、児童相談所ができたとなります。

**富岡さん** 小さい頃、成器商業高校(現 大阪学芸高等学校)があったことは覚えています。現在の今宮高校の南東にあり、相撲が強く、全国大会にも出ていました。またその近くに保健所がありました。噴水がある洋風の建物でした。当時は役所ものんびりしていて、子どもの頃はよく遊びに行き、脚気(かっけ)を調べる道具を持ち出してあちこち叩きまわっては叱られていました。

また、以前は現在の戎公園の南側に法務局があり、司法書士の事務所もたくさん集まっていた。

**川口(幸)さん** 戦前は、大國交差点のところに映画館があったと聞いたことがあります。

**区長** そのあたりでは月に2回夜店が開かれていて、多くの方が楽しみにされていたようですね。

## 区を襲った大空襲と大型台風

**区長** 大阪市は1945(昭和20)年3月の空襲で大きな被害を受け、浪速区では区域の約93%が焼けてしまいました。

**寺田(守)さん** 戦時中ほどの家も防火用水を貯めていました。大空襲の夜、火を避けるために家から持ち出した布団を行く先々の防火用水に浸し、頭からかぶって必死で逃げたのを覚えています。地下鉄大國町駅まで逃げて、空襲が止むまで駅の中にいました。後で知りましたが、当時は空襲があっても駅の中に人を入れないことになっていましたが、駅員さんがみんなを気の毒に思い、特別に開放してくれたそうです。

**川口(幸)さん** 大國地域で焼け残ったのは大國小学校と、わずかなビルくらいではないでしょうか。

**宮本さん** 1回の空襲で焼けたのではないらしいですね。  
**寺田(守)さん** このあたりは空襲が4回ほどあって、それで焼け尽くされたのだと思います。

**区長** 戦争が終わってほっとしたのもつかの間、1950(昭和25)年にはジェーン台風がやってきたそうですね。

**富岡さん** あの台風は本当に風が強く、父親が床からはがした畳を窓のガラス戸に中から立てかけて、強く押さえつけていたのを覚えています。

**川口(幸)さん** 当時はバラックの家が多く、風でトタン屋根がたくさん飛んでいきました。

**大西さん** 1961(昭和36)年の第2室戸台風の時、家族で大國小学校に避難したのを覚えています。

**宮本さん** 当時、私の家は「勤助湯」という風呂屋を営んでおり、台風の時停電で風呂場が真っ暗になると、あちこちにたくさん口ウソクを立てていました。

## 区画整理と町名の移り変わり

**区長** 戦後、大阪市は市民の皆さんと区画整理事業にとりかかりました。

**宮本さん** 昔この地域は準工業地域で、印刷工場や運送会社、自動車の整備工場、木工所などもたくさんあり



【参加者】(左から)杉本 政隆さん、大西 丈さん、中田 百合子さん、川口 和子さん、寺田 守さん、谷口 好子さん、川口 幸信さん、宮本 かつおさん、幡多区長、林 嘉代子さん、瀬川 節子さん、富岡 朋治さん、寺田 日登美さん、園田 明雄さん

ました。大國地域の道路の道幅が他の地域より広いのは、そのためではないかと思ます。

**区長** 区画整理で大國地域にも公園ができましたね。

**宮本さん** 大國町南公園は以前、道路や信号機が設置された交通公園でした。年に1回、小学校の授業で訪れて交通ルールの勉強をしました。大國小学校が代替えられた頃まであったと思います。

**寺田(守)さん** 大國小学校にはお宝があります。「知行竝進」と書かれた書画で、その為書きにあの有名な犬養毅の署名が記されています。この地域の有力者が上京した際、頼んで書いてもらったのではないかと思います。



写真提供:川口幸信さん

**区長** さきほど「勤助湯」のお話が出ましたが、かつてあった「勤助町」という町名は、浪速区ゆかりの木津勤助さんにちなんでつけられたのでしょうか。

**寺田(守)さん** 市電やバスの停留所にも「勤助町」という名前がついていました。今でも「勤助屋商店」という靴屋さんが残っています。

**園田さん** 「勤助音頭」という曲もあって、地域の地蔵盆や願泉寺の幼稚園の盆踊りでよく踊っていました。作曲があつた服部 良一というのがすごいですよね。

**区長** 服部 良一作曲なんですか!?!一度みんなで聞き直してみたいですね。

**中田さん** 昭和40年前後には、「勤助湯」のほかにも「大國湯」「宮津湯」など銭湯がたくさんありました。

**深堀り** **木津勤助 (きづ かんすけ)**  
木津川の堤防工事と新田開発で水運の基盤を整え、豊田家より「勤助島」(現在の大正区三軒家)の名が与えられました。また、1639(寛永16)年の大飢饉の際、私財を投げうって村人に分け与えたと「お蔵破り」を決行したことも知られています。

**富岡さん** 大國地域には以前、「宮津町」「貝柄(かいがら)町」(現 戎本町2丁目あたり)という町名もありました。昔このあたりは海が近かったため、それにちなんだ名前だと思います。「今宮戎神社」も、海から戎さんが上がってきたと神社になったと言われてます。

**区長** ところで、大國地域の名所・史跡というやほり願泉寺でしょうか。

**園田さん** 願泉寺は、小野妹子の八男が創建したと伝わる由緒ある寺。戦災で失われてしまいましたが、昔は伊達政宗が寄進した書院や茶室などがありました。願泉寺はかつて幼稚園も経営していて、私もそこに通っていました。

浪速区は、1925(大正14)年4月1日に誕生し、2025(令和7)年に区制100周年を迎えます。その節目に先立ち、浪速区の歴史を振り返る特別企画がスタート!

区内11地域の皆さんと座談会を行い、当時の思い出やエピソードなどを伺います。

**杉本さん** 私も卒業生の一人です。オルガンやピアノに合わせて歌ったり、朝礼では「仏様の歌」を歌いました。花まつりや豆まきの行事も楽しかったですね。寺にはプールもありました。

**区長** その当時は皆さん、どのような場所で買い物をされていたのですか。市場はあったのでしょうか。

**寺田(目)さん** 今のなにわ生野病院の場所に私設の市場があったほか、近所になんでも置いている八百屋さんがありました。

**川口(和)さん** 移動販売の車もよく来ていました。

## かつては皮革問屋街～「大國に行けば何でも揃う」～皮革産業のメッカ

**区長** 話は変わりますが、大國地域は以前、皮革産業が盛んなまちだったんですね。

**大西さん** 革製品は手袋などの袋もの、グローブなどの運動具、靴の3種類に分けられ、大國地域にはこういった革を扱う問屋が多くありました。

**谷口さん** 私は1963(昭和38)年に、この地域でライオン靴クリームの製造工場を経営する家に嫁いできました。当時は集団就職が盛んだったので、うちにも20人近くが住み込みで働いていましたね。みんな働きながら、今宮高校の夜間学校に通っていました。

**寺田(守)さん** 革の加工や製造、小売りだけでなく、革に関連する工場や店がこのまちにはたくさんありました。1955(昭和30)年～1985(昭和60)年頃まで皮革産業が活況だったと思います。

**林さん** 嫁ってきた頃、地下鉄大國町の駅から外に出ると、革の強烈なおいが漂っていたのを覚えています。

**区長** でも、今では「革のまち」というイメージはありませんね。

**大西さん** 戦前は履物といえれば下駄や草履でしたが、戦後は革靴が主流になり、このまちも大いに繁栄しました。当時は靴底も革でしたが、徐々に合成ゴムやスポンジが使われるようになりましたね。

**杉本さん** 私の家が靴底のスポンジを扱っていました。  
**川口(幸)さん** 韓国や中国で安く作られた製品が大量に入ってきて、このまちの皮革産業は衰退してしまいました。

**深堀り** **願泉寺**  
1710年代に作られた庭園は1938(昭和13)年に大阪府より名勝庭園の指定を受け、幸いにも戦災をまぬがれ今も名園としてその姿をとどめています。また、41代住職は徳川末期より途絶えていた天王寺舞楽の復旧に努め、1884(明治17)年に「雅楽会」を設立しました。現在も「雅楽会」は雅楽界の雄として活躍しています。

**深堀り** **なにわ児童交通公園**  
児童が遊びながら交通ルールを学ぶように作られた、市内初の施設。1966(昭和41)年に落成式が行われました。市街地に見立てた公園内には車道や歩道が敷かれ、交差点には本物の信号機や横断歩道も設置。ルールを教いた本物そっくりの踏切もありました。

## 住民の力で違法風俗店を追放

**区長** この地域はバブル期にワンルームマンションが多数建設され、バブル崩壊後にその空き部屋を悪用した違法風俗店が乱立したのです。

**寺田(守)さん** そのことが全国で紹介され、全国から人

が来るようになりました。大國地域は風俗のまちとして有名になり、ピークのときは違法風俗店は190店舗を超えていました。子どもたちの健全育成にも影響がありますし、違法駐車も大きな問題でした。

**瀬川さん** よそに行くと「おばちゃん、大國町に住んでるんでしょう?大國は『風俗のまち』なの?」とよく聞かれたりしました。

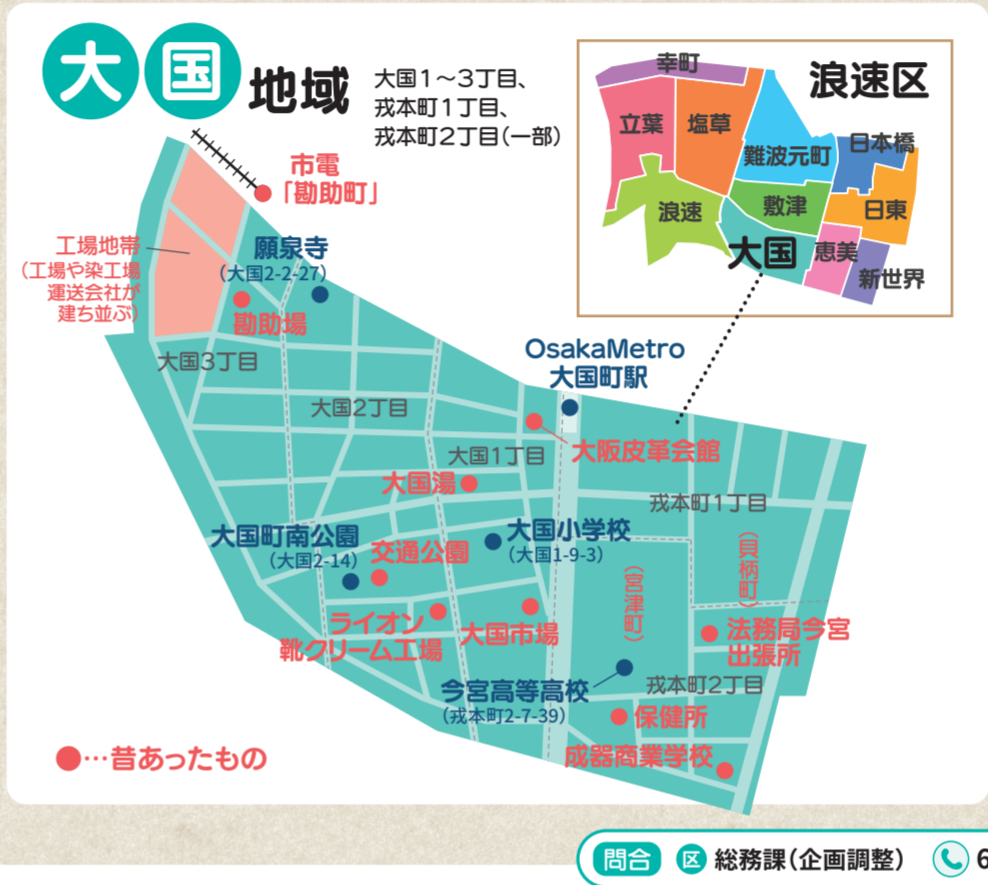
**区長** 大変な状況だったのです。 **寺田(守)さん** そこで住民が団結し、警察と連携して、2000(平成12)年から違法店舗の撲滅運動を本格的に開始しました。月に一度、住民パレード(大國パレード)を行ったり、店舗に抗議に行ったり、違法駐車を通報するなどの対策を徹底的に行いました。

**区長** その後も新型コロナが拡大するまでは、大國パレードを続けておられたと伺っています。

**寺田(守)さん** 半年ほどで違法風俗店も迷惑駐車も追放したので解散を提案しましたが、当時の警察署長が「今、解散すると彼らは知恵をつけて戻ってくる。そうしたら今度は手に負えなくなる」と言われ、その一言が20年続ける結果となりました。

**区長** これからも住民の皆さんで力をあわせて、「安全安心な大國地域」を創っていただきたいと思います。本日はありがとうございました!

座談会全文はこちら➡



大國地域 年表	「大阪市立大國小学校創立 百周年記念誌」より加工・加筆
1890(明治23年)	大阪鉄道今宮駅(現在のJR今宮駅)開業
1897(明治30年)	木津村が大阪市に編入され南区となる
1900(明治33年)	町名の改革が行われ、大阪市南区大國町、鷺町、勤助町、宮津町、貝柄町などと呼ばれるようになる。大國という名前が町の名前に初めて使われた
1903(明治36年)	私立成器商業学校が貝柄町に開校
1904(明治37年)	木津第2尋常高等小学校(現大國小)開校
1906(明治39年)	府立今宮中学校が宮津町に開校
1919(大正8年)	今宮区裁判所が貝柄町にできる 市立今宮共同宿泊所・簡易食堂、市立今宮職業紹介所、市立児童相談所が宮津町にできる 木津公設市場が大國町3丁目にできる
1938(昭和13年)	地下鉄難波-天王寺間開通
1942(昭和17年)	地下鉄大國町-花園間開通
1944(昭和19年)	浪速保健所が宮津町に移転
1945(昭和20年)	B29約90機が大阪地区を空襲する。浪速区は区域の93%が焼失する
終戦	
1949(昭和24年)	戦災復興土地区画整理事業に着手
1963(昭和38年)	大阪皮革会館が建設(現在の大國町1丁目1番)
1965(昭和30年)	大國町5丁目(現在の大國1丁目)に大國市場がオープン
1997(平成9年)	今宮駅に環状線が停車するようになった
2000(平成12年)	大國地区風俗環境浄化浪速区民総決起大会・反対パレード
2023(令和5年)	最後の大國パレード

### 浪速区制100周年記念事業

## キャッチフレーズとロゴマークが決定しました!

令和6年3月21日に浪速区制100周年×EXPO記念事業実行委員会第2回総会が開催されました。基本計画の策定や、キャッチフレーズとロゴマークを実行委員による投票で決定しました。今後は本計画に基づき取組みを進め、キャッチフレーズとロゴマークを活用し区制100周年を盛り上げます。

キャッチフレーズ・ロゴマークにご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。

ロゴマークは、これまで使用していた広報用のものが選ばれました。

ひよりの **辻田 日和さん(今宮高校3年)**  
飛躍:大きく高く飛ぶこと  
100周年と飛躍(ひやく)をかけました。これを機に浪速区のことや魅力についてもっと知りたいと思いました。

問合せ 区 総務課(企画調整) ☎ 6647-9683 📠 6633-8270

## なにわマニア話 vol.1

### ■ 羅門光三郎、岸本水府、白川静が通った 成器商業学校【大國】

鳥取県東伯郡栄村(現・北栄町)出身で、父・惣一も儒学者として有名だった遠藤三吉は若い頃より漢籍を学び、中国の歴史書『十八史略』を百回読んで独学で習得したという俊才でした。その後、大阪英法学校(中之島にあった)や東京法学院(現・中央大学)で英語や法律を学んで弁護士となります。とくに窃盗事件の犯罪者の弁護に定評がありましたが、教育者としての活動も始め、大阪実業学館、城南商業学校の講師などを経て明治36年(1903)に南区貝柄町(現・浪速区戎本町2丁目3番付近)に成器商業学校(現・大阪学芸高等学校)を創立しました。経済的事情で進学が難しい学生のために昼間は働いて夜間に学ぶことができる夜間部を設立し、これは甲種商業学校では日本初の試みでした。江崎グリコの広告部長で川柳作家の岸本水府(1892~1965)、中島らものペンネームの由来となった剣戟スターの羅門光三郎(1901~1976)、松竹新喜劇を旗揚げした喜劇人の曾我廼家明蝶(1908~1999)、漢文学者で立命館大学名誉教授の白川静(1910~2006)などが当地で学んでいます。

**案内人**  
**陸奥賢さん**  
観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者  
「大阪七幕巡り復活プロジェクト」「まわしよみ新聞」(読売教育賞最優秀賞受賞)などのプロジェクトを主宰。大阪まち歩き大学学長。著書に『まわしよみ新聞をつくらう!』(創元社)